

重点分野「在宅医療に関する医療連携・普及啓発モデルの構築」に関する各団体の取組一覧

団体	題目	内容	方法					対象	共催
			研修講演	学会	調査研究	普及啓発	その他		
日本医師会	日医かかりつけ医機能研修制度を通じたかかりつけ医による在宅医療の充実	診療科を問わず地域住民のかかりつけ医となるすべての医師を対象とした「日医かかりつけ医機能研修制度」において、在宅医療に関する座学講義の実施および実践を促すことにより、かかりつけ医による在宅医療の普及を図る。	●					医師	
	日本医師会在宅医療連絡協議会を通じたオールジャパンでの在宅医療推進体制の構築	日本医師会が中心となって我が国の在宅医療の方向性を示すべく、在宅医療に関する先進的な取組を行う全国の医療関係団体および医師を構成員として設置した本協議会において、在宅医療提供体制の在り方の検討を行うとともに、「地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会」をはじめとする在宅医療に関する研修を企画段階から検討し実施する。	●				●	医師	
	郡市区医師会と市区町村行政を車の両輪とした在宅医療推進体制の構築の支援	都道府県医師会および郡市区医師会に対する在宅医療推進に向けた協力依頼や、都道府県医師会担当理事連絡協議会、医師会役員・医療職・市民等を対象とする全国での講演において、郡市区医師会と市区町村行政との協働によって在宅医療の普及が進む先進事例の周知を行うことにより、郡市区医師会と市区町村行政を車の両輪とした在宅医療の推進体制の構築や在宅医療・介護連携に関する取組みを支援する。	●					医師 行政関係多職種 市民	
	三師会および日本看護協会を中心とした多職種連携の推進	日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会による協議を通じ、各職能の調整を行い、在宅医療に関する多職種連携の推進を図る。					●	医師 関係多職種	
全日本病院協会	「高齢者医療研修会」	平成20年度より、医師を対象に、日本老年医学会との共催で、高齢者の在宅医療における課題等を含めた研修会を、講義及び演習形式にて開催している。	●					医師	日本老年医学会
	「病院医療ソーシャルワーカー研修会」	入院から在宅につなげていく中で重要な役割を担う、病院・施設に勤務している医療ソーシャルワーカーを対象とした研修会を、平成25年度より日本医療社会福祉協会との共催により実施している。地域の中での医療ソーシャルワーカーの機能や役割等について、講義及びグループワークを中心とした演習を行っている。	●					MSW	日本医療社会福祉協会
	「病院職員のための認知症研修会」	医療従事者の認知症への知識及び対応能力は十分とはいいがたく、しばしば入院した認知症の人の行動・心理症状(BPSD)やコミュニケーションの困難さによる戸惑いや混乱、看護・介護負担の増加がみられる。これらの問題を解決し、認知症の人が分け隔て無く受け入れられ、必要な医療および適切なケアを受けることができる体制を構築することを目的に、認知症の方へのケアメソッドである「ユマニチュード」を学ぶ研修会を年1回開催している。	●					医師 病院職員	看護師
	「病院看護師のための認知症対応力向上研修会」	身体疾患のために入院した認知症患者に対する病棟における対応力とケアの質の向上を図るための取組みや多職種チームによる介入を評価する項目として、平成28年度診療報酬改定で新設された「認知症ケア加算2」に対応した研修。	●					看護師	
	看護師特定行為研修の推進	在宅医療の推進を図っていくために必要な人材である特定行為研修を修了した看護師を増やすために、会員病院等に対して、特定行為研修に係るeラーニングの提供、指導者講習会の開催、手順書例集の作成等、看護師特定行為研修の指定研修機関を更に拡大していくための援助を実施。	●				●	看護師	
	日本慢性期医療学会	本学会には、主に慢性期医療分野に携わる医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護士、管理栄養士、リハビリ療法士、臨床検査技師、ソーシャルワーカーなど、様々な専門職種が参加し、職種の垣根を越えたテーマごとの演題発表を行うことによって、チーム医療の質を高めている。また、病院のみでなく、介護系施設、在宅医療に携わるスタッフも参加し、今後の地域医療を支える人材育成を目指している。		●				医療 介護関係者等	
	慢性期リハビリテーション学会	リハビリテーションとは、単なる機能訓練ではない。患者、利用者の人としての尊厳を保つためには、生活に根ざしたリハビリテーションが欠かせない。地域で暮らすことができるようにするためには、まずは食事、排泄の回復が求められる。また、リハビリ療法士だけがリハビリテーション技術を提供するのではなく、患者をとりまく専門職はもとより、患者本人、家族まで含めたリハビリテーションが求められるだろう。本学会では、リハビリ療法士をはじめ、医師、看護師、介護士などの幅広い参加により、より患者に寄り添うリハビリテーションの充実を目指している。		●				医療 介護福祉関係者等	

団体	題目	内容	方法					対象	共催
			研修講演	学会	調査研究	普及啓発	その他		
日本慢性期医療協会	慢性期医療認定講座 在宅医療認定医講座 総合診療医認定講座	高齢者の場合、高度急性期での治療を終えても、そのまま在宅に復帰できないケースも多い。回復、療養の期間を経て、居住系施設・自宅等に移行していくが、急性期から慢性期に転院してきた患者を診る医師は、専門分野に限らず、総合的な治療を行なうことができる知識と技術が必要である。本研修では、講義、ワークショップ等とおし、計32時間6日間に渡る研修を行なっている。	●					医師	
	医師のための総合リハビリテーション講座	脳血管疾患等を発症した場合、生活復帰のためにはリハビリテーションを速やかに開始することが最も重要であろう。リハビリテーションの知識は、全ての医師に求められているとも言える。本研修では、15時間に及ぶ講義を履修することにより、総合的にリハビリテーションについて学ぶことができる。	●					医師	
	排尿機能回復のための治療とケア講座	人間性の回復として、患者が一番望むことは、排泄の自立であろう。排泄機能が回復すれば生活の質が格段にあがる。そのためには、医師が尿路機能障害の病態の理解と適切な診断を行い、看護師、リハビリ療法士などがチームとなり、個々の患者に応じた器具、排泄用品などを用いて排泄機能の回復を目指していくことが必要だろう。本研修では、医師と看護師を対象とし、理論から実技まで幅広く網羅した内容としている。	●					医師 看護師	
	看護特定行為研修	介護保険施設、在宅等では医師が常駐していないため、これまで医療的な管理の必要性が高い患者は退院が難しいという状況があった。本看護師特定行為研修を修了した看護師は、予め医師の指示・手順書を受けることによって、本来、医師が行なうべき医療行為を患者に提供できる。これからの在宅がすすむかどうかは、特定行為のできる看護師をいかに多く養成できるかにかかっていると云ってもよいであろう。当会は、厚生労働省の指定研修機関として、1年間の研修カリキュラムを組み、現在のところ最も多く特定行為のできる看護師を輩出している。	●					看護師	
	看護師のための認知症ケア講座	高齢者人口の増加にともない、2025年の認知症高齢者の数は約700万人に上ると推計されている。認知症は誰もが関わる身近な病気であり、認知症の人と共に暮らせる街づくりが求められている。今後の地域包括ケアを推進するためには、看護師が認知症ケアの核となることが肝要である。本研修では症例を提示したワークショップを多く取り入れ、アセスメントと援助技術、コミュニケーションなどについて2日間をかけて学ぶ内容となっている。	●					看護師	
	医療介護士養成講座	本研修は、介護職員等がたんの吸引・経管栄養等が実施できるようにするための研修である。看護師、あるいは在宅の場では家族がおこなってきた痰の吸引等を、介護職員が実施できるようにすれば、在宅療養がさらに広がることが期待される。当会では、50時間の座学、演習、約半年間の実地研修などの綿密なカリキュラムを組み、現場での実践に確実につながるようにしている。	●					介護士	
日本歯科医師会	歯の健康力推進歯科医師等養成講習会の実施	平成20年度～平成26年度に規定の講習時間(3～5日:20～40時間)で、演習及びワークショップ、講演、施設見学を必須として、日本歯科医師会及び40都道府県歯科医師会において開催	●					歯科医師、歯科衛生士	
	在宅歯科医療に関する会員向け研修セミナーの開催	毎年、講演形式(全国10か所)とDVD版(講演形式以外の37か所)による生涯研修セミナーを実施しており、在宅歯科医療に関連したセミナーの近年での開催は平成28年度(健康長寿社会を支える歯科医療)、平成27年度(健康長寿社会を支える歯科医療～総合的視点に立った臨床歯科～)。	●					歯科医師	都道府県 歯科医師会
	各都道府県歯科医師会における在宅歯科医療に関する研修会の開催	全国43の都道府県歯科医師会で開催(平成27年度実績)	●					歯科医師、歯科衛生士等スタッフ	都道府県行政
	在宅歯科医療連携室の設置	全国44の歯科医師会で設置(平成27年度時点)				●	●		
日本薬剤師会	薬剤師が行うフィジカルアセスメント	薬剤師が行うフィジカルアセスメントの理念を「地域医療・在宅医療の現場で、薬剤師が患者の薬物治療の効果と副作用の発現をより客観的に評価するために行うもの」とし、その理解と必要な臨床手技の修得を目的としたプログラムを策定。都道府県薬剤師会等において当該プログラムを用いた研修会が開催できるよう、マニュアルを作成し、都道府県薬剤師会に周知した。また、当該プログラムでは研修会の実施に際して関係団体の協力についても記載し、実際の開催に際して地域医師会等の協力(講師等での参加)を得ている。	●					薬剤師	地区医師会

団体	題目	内容	方法					対象	共催
			研修 講演	学会	調査 研究	普及 啓発	その他		
日本 看護協会	地域の看護職のネットワーク構築事業の実施	都道府県看護協会地区支部等単位の看護職連携構築モデル事業 地域において職場・施設を越えた看護職の交流や住民参加の勉強会等の実施により、看護職や多職種のネットワークの基盤強化を行う。					●	看護師	
	調査研究事業 (医療機関、訪問看護ステーション間の連携のための出向モデル事業を実施)	1)「地域における訪問看護人材の確保・育成・活用策に関する調査研究事業」 2)「訪問看護実践を通じた病院看護師の在宅療養支援能力向上に関する調査研究事業」			●		●	看護師	
	NICU/GCU退院児とその家族への在宅支援に向けた協働の促進	1)NICU/GCUから退院する児とその家族の支援に関わる看護職育成のための教育内容の検討とプログラム作成 2)指導者研修プログラムの検討					●	看護師	
	平成24年~26年複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護事業所)の効果検証のための情報収集を実施	複合型サービス(訪問看護を基盤とした小規模多機能型居宅介護)の全国的な普及促進に向け、サービスの効用や安定的な運営方法についてのデータを収集			●			看護小規模多機能型居宅介護	
	地域包括ケアシステム推進に向けた、訪問看護提供体制の基盤整備に向けた会議の開催	1)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護師職能委員会 2)訪問看護3団体による訪問看護の推進 3)全国の訪問看護連絡協議会と都道府県看護協会による会議開催					●	訪問看護師	訪問看護財団 全国訪問看護事業協会
	円滑な多職種の協働に向けた看護職と介護職の連携の促進と実現に向け、「在宅・介護領域における多職種情報共有シート」作成	本会ホームページに掲載し周知、普及を図る					●	看護師 介護士	
	地域包括ケアシステムの推進に向けた研修の実施	1)退院支援・退院調整研修の実施 2)特定行為研修の実施、 3)認定看護師、専門看護師の養成 等		●				看護師	
日本理学療法士協会	都道府県理学療法士会会長会議を開催	地域包括ケアシステムに関する対応や在宅リハビリテーションに関する考え方を協議					●	理学療法士	
	都道府県PT協会、OT協会、ST協会の全国会長会議を3回開催	地域包括ケアおよび在宅リハビリテーションについて協議					●	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	日本作業療法士協会 日本言語聴覚士協会)
	都道府県PT協会、OT協会、ST協会の統一事務所の設置	行政や医師会等との連携の効率化を推進、現在機能統一した都道府県数は35、共同事務所設立が29か所					●	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	日本作業療法士協会 日本言語聴覚士協会)
	都道府県別生活期管理者研修会の開催	(介護保険サービス事業所などの)在宅リハビリテーションに関わる施設のリハビリテーション部門責任者を対象に、管理能力強化を目的とした、人材育成および事業所運営に関する研修会を開催		●				理学療法士	
	都道府県別生活期管理者ネットワークの構築	(介護保険サービス事業所などの)在宅リハビリテーションに関わる施設のリハビリテーション部門責任者で構成するネットワークの構築					● (組織構築)	理学療法士	

団体	題目	内容	方法					対象	共催
			研修 講演	学会	調査 研究	普及 啓発	その他		
日本作業療法士協会	平成28年度老人保健健康増進等事業	認知症のリハビリテーションを推進するための調査研究事業			●			認知症疾患医療センターに勤務する作業療法士 ・認知症疾患医療センター	
		予防給付における通所リハビリテーションのあり方に関する調査研究事業			●			通所リハおよび訪問リハで介護予防サービスを実施している事業所のIADLに何らかの支障があり、同意が得られた利用者	
		福祉用具・住宅改修における効果的なサービス提供に必要な方策等に関する調査研究事業			●			福祉用具貸与事業者	
		介護保険施設等における寝たきりゼロのためのリハビリテーションの在り方に関する調査研究事業			●			日本作業療法士協会の会員が所属する全国の医療療養病床、介護療養病床、介護老人保健施設	
	厚生労働省老健局からの受託事業	介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会設置事業 排泄介護の各プロセスにおける効率的な支援を実現するための機器開発に関する検討					●	介護老人保健施設の利用者・介護者(PT・OT)、メーカー・企業、中間ユーザー	
日本介護支援専門員協会	「介護支援専門員による医療と介護の連携促進に関する調査研究事業」	介護支援専門員による医療との連携を促進するための実践に資する方策を検討。医療的課題に気づき、医療職などと効果的に連携することが求められることから、その気づきと連携を促すためのツールとしてハンドブックを作成し、頒布した。			●		●	介護支援専門員	
	「在宅医療と介護保険サービス関係と患者・利用者の在宅ケア」	介護保険の現場に影響する点と、利用者を中心とした在宅での医療・介護の連携促進のための方策について検討。「在宅医療・介護の連携」をテーマとする市民・在宅医療・介護関係者等を対象とした研修会を実施。	●					市民、医師、看護師 介護支援専門員、介護士	
	「看取り期における医療・介護の連携を中心とした事例研究」	看取り期に立案したケアプランのうち、医療と介護の連携を行い、最期まで自宅で過ごした事例の分析を行い、事例集を作成した。			●			介護支援専門員	
	全国規模の大会での「医療と介護の連携・ターミナル期支援」に関する研究事例発表を実施				●			介護支援専門員	
日本医療社会福祉協会	在宅医療ソーシャルワーカーの集い	在宅療養支援診療所や在宅医療介護連携推進センターの医療ソーシャルワーカーを対象とした集い(在宅医の講義や先駆的な在宅ソーシャルワーク活動(GoodPractice)の講演、グループワーク等を通して、在宅医療ソーシャルワークの標準業務化、資質向上を図っている。	●				●	社会福祉士	
	人生の最終段階における意思決定支援研修会	医療ソーシャルワーカーに対し、相談支援、合意形成に向けたチーム医療及び実践力の向上を行っている平成26.27年度「厚生労働省「人生の最終段階における医療体制整備事業」の相談員研修会(E-FIELDプログラム)の内容も参考とした。	●					社会福祉士	
	全日本病院協会 医療ソーシャルワーカー研修会	平成25年度より共催で開催している。医療ソーシャルワーカー向け、3職種(+医師または管理者、看護師)向けを各1回、年間2回開催している。 地域包括ケアシステムの構築に向けて医療ソーシャルワーカーに期待される所属組織内方略、地域に対する方略立案に向けて必要な知識の取得、実践のためのグループワーク等を実施している。	●					社会福祉士 医師 看護師	全日本病院協会
	退院支援専門ソーシャルワーク研修会	平成20年度より開催している。在宅医療に携わる医師、退院支援看護師から看護師との協働に関する講義を受け、生活者視点の医療ソーシャルワークの方法論を学び、資質の向上を図っている	●					社会福祉士	
	周産期から始まるソーシャルワーク研修	平成22年度より「NICU入院児ソーシャルワーク研修」という名称で実施し、NICU退院児、医療的ケアを必要とする児への家族支援、退院支援の講義、グループワーク等を実施している。	●					社会福祉士	
	チーム医療推進協議会における活動	地域包括ケアシステムにおけるチーム医療の必要性の啓発 ・研修会の開催「地域包括ケアシステムにおけるチーム医療」 ・国民に分かりやすい職種紹介のまんがの作成。	●				●		

団体	題目	内容	方法					対象	共催
			研修 講演	学会	調査 研究	普及 啓発	その他		
全国在宅 療養支援 診療所連 絡会	MLでの会員間の意見交換 情報発信	メーリングリスト(ML)を活用し、意見交換・情報発信・困難事例への助言など、会員間で毎日活発な討論が行われている。 年間投稿数:712通					●	医師	
	HPにおける情報提供	催し物の案内他、会員リストを掲載している。				●	●	市民、医師、看護師 在宅医療関係者	
	書籍監修 スーパー総合医(総合診療医テキスト)	地域包括ケアシステムについて					●	在宅医療関係者	
	学術誌の企画・監修 在宅新療0-100 他	コンテンツの企画					●	在宅医療関係者	
	在宅医療推進ブロックフォーラム(全国11ブロックにおいて)開催	各県訪問看護ステーション連絡協議会・公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団との共催で、全国各地で在宅医療推進フォーラムの地方版を開催している。		●				在宅医療関係者	訪問看護ステーション連絡協議会 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団
	在宅医療推進フォーラム	毎年11月23日に開催される、公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団主催の、在宅医療推進フォーラムへの共催・企画 今年度で12回を迎える これらのフォーラムは、多くの市民参加を得ている		●				市民 在宅医療関係者	公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団
	全国在宅医歯薬連合会 組織化	従来の医療は医師と看護師を両輪とし実践されているが、地域包括ケア時代を迎え、地域完結型医療の実践には、歯科医師、薬剤師の協力なくして困難との認識に基づく 今年度、第1回在宅医療医歯薬連合会全国大会を開催。					●	医師 歯科医師 薬剤師	在宅療養支援歯科診療所連絡会・全国薬剤師・在宅療養支援連絡会
	在宅療養支援診療所連絡会全国大会	平成25年度より毎年実施 今年度で4回開催		●				在宅医療関係者	
	日本医師会在宅医療推進協議会委員として会員が参加						●	医師	日本医師会
	在宅医療相談	市民からの問い合わせに対し、在宅医の紹介や課題解決への助言を社会福祉士が担当。				●	●	市民	
講師人材紹介	各種講演会・フォーラム等へ講師の紹介		●			●	市民、在宅医療関係者		
取材申し込み	雑誌・新聞等からの依頼に対して、取材対象の紹介。						在宅医療関係者		
全国在宅 療養支援 歯科診療 所連絡会	全国大会における学術講演、シンポジウム、討論会	平成29年は、第1回在宅医療医歯薬連合全国大会との同時開催で大開全国大会を催し、シンポジウムとポスター発表を行った		●				在宅医療関係者	全国薬剤師・在宅療養支援連絡会・在宅療養支援診療所連絡会
	東大モジュールによる講師養成事業	平成27年全国大会領域別セッション「摂食・嚥下」研修を2回行い、約150名が研修終了した。修了者はHP上に掲載	●					歯科医師	
	当会のメーリングリスト上でのEラーニングでの学習システム	オリジナル教材(DVD他)を製作。資料を提供し、メーリングリスト上にて質疑応答の対応をしている。また、メーリングリスト上にて臨床症例・事例についての意見交換が活発に行われている					●	在宅歯科医療関係者	
	関西および関東のオールマネジメント研究会の活動	オールマネジメント研究会は、当会会員で大学教育・病院歯科の方々を中心に行われている。		●				在宅歯科医療関係者	
歯科拠点	会員の歯科診療所・大学教育部門・病院歯科では、地域での医歯薬連携や医療介護連携に積極的に関わりを持っているところが多く、地域での多職種連携の歯科拠点となり得るとが多い。					●			

団体	題目	内容	方法					対象	共催
			研修 講演	学会	調査 研究	普及 啓発	その他		
全国薬剤師・在宅療養支援連絡会	全国学術・研修大会における多職種合同研修の開催	2017年5月27日～28日にかけて全国在宅療養支援診療所連絡会、全国在宅療養歯科診療所連絡会と合同で第1回全国在宅医療医歯薬連合全国大会を「人生を支える在宅医療の創造～かかりつけ医療の本質～」をテーマに東京にて開催した。	●					在宅医療関係者	
	全国を10ブロックに分け、それぞれの地域でブロック研修会を開催	ブロックごとに「J-HOPフェスティバル」または「ブロック研修会」として研修会を開催した。単なるシャワー型講演ではなく、多職種連携に繋がる「ケアカフェ」や「無菌調剤」に関する実習なども取り入れ、地域の特性に合わせた研修内容として開催した。	●					薬剤師	
	在宅療養者へのケアマネジャーと薬剤師の連携シート活用事業	かかりつけ薬局の薬剤師がケアマネジャーからの情報(連携シートを活用)を起点に在宅療養者とながら、残薬をはじめとする薬に関する問題に介入するための仕組み構築事業。(平成25年度東海村在宅医療・介護連携拠点事業として実施したものは日本地域薬局学会誌に論文投稿(2016年Vol 4)					●	薬剤師 介護支援専門員	
日本訪問看護財団	○訪問看護eラーニングの配信及び見直し	訪問看護師の確保と質の向上を図るため、卒後研修として、訪問看護を目指す看護師等への訪問看護eラーニング配信による訪問看護基礎研修(240時間)を開催し、累積受講者数10,000名(10年間)となっている。平成28年度に「訪問看護人材育成教育カリキュラムに関する検討委員会」を開催してカリキュラムを見直し、平成29年3月に「訪問看護人材養成カリキュラム」報告書を発行した。	●					訪問看護師 ケアマネジャー 教職員等	
	各種集合研修会の実施	・訪問看護関連の各種集合研修(制度、職種間連携、技術等)を毎年開催(平成28年度:約2,750名)	●					訪問看護師	
	重症心身障害児者等コーディネーター育成研修	障害福祉サービスにおける相談支援専門員の医療的ケアに関する知識等の強化・普及を目的とし研修会を開催した。併せて、相互の理解を深めて医療的ケア児の在宅移行を促進を目的とし、相談支援専門員、訪問看護師、病院の連携看護師等との合同研修会を開催した。	●					相談支援専門員 訪問看護師 病院連携看護師	
	政策提言に向けた調査研究事業	・訪問看護ステーションにおける介護予防訪問看護の実態調査を行った(平成28年度)。 ・東日本大震災の被災地(名取市)の仮設住宅住民への健康支援活動5年間の評価調査を行い報告書を作成した(平成28年度)。			●	●		訪問看護事業所	
	訪問看護相談・普及事業	・訪問看護制度・報酬に関する無料電話相談・メール・FAX対応した(平成28年度:7,308件) ・訪問看護ステーション開設の来所相談、一般市民からの相談等を受けた。 ・訪問看護を普及するために、小冊子の無料配布、訪問看護テーマソングの普及、DVDや関連書籍発行・販売を行った。 ・当財団役職員を講師として派遣した					●	●	訪問看護事業所 市民 病院・診療所

団体	題目	内容	方法					対象	共催
			研修講演	学会	調査研究	普及啓発	その他		
全国訪問看護事業協会	研修事業の実施	訪問看護師基礎研修会、管理者研修会、制度関連研修会、リスクマネジメント研修会、退院支援研修会、ターミナルケア研修会、神経難病研修会、小児訪問看護研修会、精神科訪問看護研修会、認知症ケア研修会などを開催している。	●		●			訪問看護事業所に就労する従事者	
	厚生労働省医政局委託 在宅医療関連講師人材養成事業(訪問看護分野)「訪問看護講師人材養成研修会」の実施	47都道府県から推薦された120名の受講者に対して以下の目的で研修会を実施している。 ○平成28年度:訪問看護師の量的確保の課題、地域の実情に沿った訪問看護の基盤整備・推進活動について方策を考え、地域において企画・運営できる人材の育成。 ○平成29年度:自地域において講師人材となることができ、自地域において訪問看護の人材の確保、推進・普及に関する研修の企画・運営ができる人材の育成。	●				● 報告会の開催	訪問看護師	
	訪問看護制度・運営等に関する無料電話相談事業の実施	訪問看護ステーションの管理経験が豊富な者が、毎週水曜日13時～17時に電話・FAX・メールでの相談対応を実施している。					● 電話相談	訪問看護事業所に就労する従事者	
	精神科訪問看護に関する普及促進事業の実施	随時、FAXで相談内容を受信し、精神科訪問看護等の経験豊富な者が電話でコンサルテーションを実施している。また、毎年、精神科訪問看護情報交換会を実施し、精神科疾患の利用者に関わる多職種と交流している。	● 情報交換会				● コンサルテーション	訪問看護事業所に就労する従事者	日本精神科看護協会
	訪問看護事業の推進に向けた各種会議の開催	以下の会議や内容で検討を行っている。 ①訪問看護推進委員会を設置し、訪問看護事業や訪問看護関連事業の促進・質の確保等 ②日本看護協会、日本訪問看護財団、当協会の三団体で訪問看護に関する情報交換、活動方針等 ③年1回、全国の47都道府県に設置されている訪問看護ステーション協議会と情報交換会					● 会議の開催	訪問看護師等	②日本看護協会・日本訪問看護財団
	各種ガイドラインや冊子の作成と配布	精神科訪問看護、新卒看護師育成、事業所自己評価、複数名看護加算活用、専門性の高い看護師との連携、ICT活用普及、通所介護との連携、認知症グループホームとの医療連携など、訪問看護の制度運用や多職種との連携に関するガイドラインや冊子の作成、配布、当協会ホームページに掲載。				●	● 冊子の作成、配布	訪問看護事業所に就労する従事者、訪問看護事業所と連携する他職種	
	訪問看護ステーションニュースの発行	訪問看護に関する最新情報、管理者研修等の受講後の活動報告、他職種からの記事などを掲載した機関紙を各月で会員に配布している。					● 配布	訪問看護事業所等	
	訪問看護関連書籍の発行	「訪問看護実務相談Q&A」「ナースのための退院調整」「事故事例から学ぶ訪問看護の安全対策」「訪問看護ステーションの災害対策」「看護小規模多機能型居宅介護開設ガイドブック」等を改訂及び新規発行している。				●	● 出版	在宅医療関係者	
	HIV感染被害者へ健康訪問相談を実施するための訪問看護ステーションのリスト化	はばたき福祉事業団が実施する「薬害HIV感染被害者に対する健康訪問相談」について、当事者と訪問看護ステーションとのマッチングのためのリスト化を行い(238事業所の登録)、研修事業を実施した。	●				● リスト作成	当協会訪問看護事業所	はばたき福祉事業団
	訪問看護師が利用者・家族から受ける暴力に関する調査研究	訪問看護師の安全を守る方策を検討し実施する目的で、外部専門家を含む委員会を設置し、実態調査、ガイドライン等の作成、研修ツールの作成等を行っている。				●	● ガイドライン・研修会ツールの作成	訪問看護事業所に就労する従事者	
	一般公募による研究助成	訪問看護事業の経営、サービスの質の確保・向上等に関する調査研究等により、訪問看護事業の健全な発展を図り、国民の保健福祉の向上に寄与することを目的として、訪問看護に関する研究助成を実施している(平成29年度は3件の研究助成実施)。				●	●	訪問看護事業所に就労する従事者、訪問看護事業所と連携する他職種	
	調査研究事業で開発したWebシステムの改修と運用	事業所体制やケアの質の評価と改善を目指す目的で、研究事業で作成した訪問看護ステーションが事業所自己評価を行うためのシステム、訪問看護のケア実態を明らかにするシステム及び在宅事故報告システムを開発・改修し、運用している。				●	● システム運用	訪問看護事業所に就労する従事者	
	厚生労働省医政局委託 在宅看取り研修事業の実施	情報通信機器(ICT)を利用した死亡診断等ガイドライン内に示されている「法医学等に関する一定の教育」として、在宅での看取りにおける医師による死亡診断に必要な情報を報告する看護師を対象にした法医学等に関する研修を実施し、研修修了者の活躍推進に向けたICTを利用した死亡診断等の実施体制の検討を行っている。	●			●	●	訪問看護事業所、診療所、介護施設に就労する看護師	
厚生労働省老人保健局委託 老人保健健康増進等事業の実施	訪問看護事業所における看護職員と理学療法士等のより良い連携のあり方に関する調査研究事業、訪問看護事業所が新卒看護師を採用・育成するための教育体制に関する調査研究事業、高齢者施設等と訪問看護事業所との連携の実態及び看護の提供に関する調査研究事業を行っている。				●	● 手引書、ガイド等の作成	訪問看護事業所、診療所、高齢者施設		

団体	題目	内容	方法					対象	共催
			研修講演	学会	調査研究	普及啓発	その他		
在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク	全国の集いの開催	全国の集いを年に1回開催しており、これまで22回開催してきた。特に、実践交流会という多職種が一同に集まり議論を重ねる会議を、第1回の大会から行っており、医師のみならず歯科医師、薬剤師、看護師、介護職などが活発な議論を重ねている。これらの、積み重ねが地域での医療連携や、在宅医療促進をすすめてきた。		●				在宅医療関係者	
	プレ大会の開催	全国大会へ向けて、各地域で小規模の多職種会議を重ねている。		●				在宅医療関係者	
	認知症の重度化予防実践塾の開催	認知症への対策として介護従事者に一定の研修が義務付けられている。認知症の重度化を防ぐには、介護で困っている問題を解決し、成功体験を得ることが最も効果的であると、この体験を導き出すことに主眼をおいた研修カリキュラムを作り、各地で開催した。	●					介護職員	
	地域包括ケアシステムに関する調査事業	地方自治体に対して、在宅医療・介護連携推進事情の進捗状態に関するアンケート調査を行った。213の自治体から回答を得て、在宅医療の関して理解のある医師が医師会内で影響力があるかどうか、事業の進捗に影響している。			●			在宅医療関係者 行政職員	
	海外スカラーシップ事業	フィリピンの西ネグロスおよび南カマリネス州政府と協力合意書を交わして、看護師の日本語学校留学生を受け入れている。					●	在宅医療・介護関係者	
日本ホスピス・在宅ケア研究会	地域医療・介護職に対する看取りの研究会	多職種のワークショップ形式で地域において看取りをテーマとした研修会を開催	●					地域医療介護関係者	
	在宅ホスピスボランティア育成事業	現在、加古川市において育成事業を展開中	●					市民	加古川社会福祉協議会
	在宅医療啓発	研究会の全国大会を契機に、開催地において、地域住民および医療介護関係者および行政担当者に対して在宅医療の啓発を行っている	●			●		市民 地域医療介護関係者 行政	
	独居高齢者の自宅看取りができるまちづくり	独居高齢者の自宅看取りの促進要因および阻害要因を分析し、要因別の対応方法について紹介する	●		●	●		地域医療介護関係者 市民	在宅医療助成勇美記念財団
全国老人保健施設協会	「介護老人保健施設における在宅療養支援のあり方に関する調査研究事業」	在宅医療を推進していくための機能としての緊急ショートの有用性について検討を行なった			●			老健施設職員 ショート利用者 居宅介護支援専門員	
	「介護老人保健施設における薬剤調整のあり方とかかりつけ医等との連携に関する調査研究事業」	介護老人保健施設での薬剤調整が、退社後にもたらす影響について評価を行うとともに、かかりつけ医と介護老人保健施設の医師・薬剤師の連携のあり方について検討を行った			●			老健管理医師・薬剤師 かかりつけ医	
日本プライマリ・ケア連合学会	本学会では、「一人の医師が外来診療と共に在宅医療(訪問診療)も担う臨床」を推進すべきモデルとしている。	これは、外来診療による高齢者ケアの延長線上に在宅医療が自然な形で位置付けられることを意味し、在宅医療への敷居の高さを感じている診療所医師に在宅医療の取り組みを促す上で有益である。	●	●				医師	
	本学会では、医師一人の診療所のみならず、「複数の医師によるグループ診療」も推進すべきモデルとしている。	このグループ化による診療形態では、夜間・休日の交代勤務が容易になるため、終末期医療を含む重症患者の診療の際などに生じる、一人の医師への過剰な負担を避けながら、在宅医療(訪問診療)を安定的かつ持続的に供給することが可能になる。	●	●				医師	

団体	題目	内容	方法					対象	共催
			研修講演	学会	調査研究	普及啓発	その他		
日本老年医学会	日本老年医学会に「在宅医療小委員会」をすでに設置し、研究面から臨床面までの幅広い視野で活動	アカデミア人材が多く含まれることの強みを活かし、医学部卒前教育での在宅医療に関する教育の手法、研修医制度の中に在宅医療をどのように組み込むのか、在宅医療研究を推進するためのエビデンス集積など、「臨床・研究・教育」の全ての方向に向けて力を注いでいる。	●	●	●	●		医師	
	卒前教育として、取り組める医学部において在宅医療に関する講義、臨床実習(クリニカルクラークシップ)を導入	特に大学を中心とした医育機関において、医学部卒前教育における在宅医療をどのように学ばせるのかを重点課題に置いている。実習では、関連医療機関(特に在宅医療実践のクリニックや地域他職種)を実習先にした現場実習に力を注いで取り組んでいる。今後、各教育機関との連携を底上げしながら、実習に重きを置いた卒前教育の重要性を啓発する。	●			●		医学生	
	老年医学サマーセミナー	夏季に全国の大学の医学生、初期臨床研修医から約20名程度募り、1泊の合宿形式にて実施。その中に在宅医療推進を中心とする地域包括ケアシステムに関する講義を導入。多職種連携についてモデルを設定し、グループワークを介して相互の役割の理解を図ることを実施。	●			●		医学生～初期研修医	国立長寿医療研究センター
	新専門医制度における老年病専門医のカリキュラム	新専門医制度における老年病専門医のカリキュラムにおいて地域包括ケア・在宅医療の実践/マネジメントをコンピテンシーの一つにあげ、在宅療養患者の生活介護状況を評価、多職種との連携による診療実践を行うことを研修要件とする。	●			●		初期研修医	
	高齢者医療研修会	老年医学ならびに高齢者総合機能評価(CGA)の普及を目的とした研修会(2日間の座学ならびにワークショップで構成)。講義の中には在宅医療および多職種連携、さらには在宅も含めた病診連携などのコンテンツが含まれ、地域包括ケアシステムに関して深く学修する。	●			●		病院医師	全日本病院協会(一部)
	老健管理医師総合診療研修会	老健施設の管理医師を対象に高齢者医療研修会での研修内容ならびに老健施設で必要な老年医学的視点での高齢者医療を研修する。地域包括ケアシステムとの関連や老健施設での多職種連携についても研修をさらに深める学修をする。	●			●		老健施設等に勤務する医師	国立長寿医療研究センター 全国老人保健施設協会
	TNT-Geri研修会(高齢者栄養管理)	加齢変化を背景とし、様々な疾患の合併により引き起こされる老年症候群(フレイル、サルコペニア等)を合併した高齢者の栄養障害に対するスクリーニング、アセスメント、介入方法に関して、2日間の日程で学習する。内容には在宅療養症例での栄養管理も含まれ、講義・ワークショップ・症例検討の3部構成により様々な角度から深く学ぶ。	●			●		医師 栄養士	
日本在宅医学会	「在宅医療研修プログラム」	2009年よりポートフォリオ基盤型学習を運営。在宅医療研修プログラムは現在全国に122となっている。	●					医師	
	「在宅医療専門医」	2010年より年1回専門医試験を実施、2009年までの経過措置も含めて、現在まで214名の在宅医療専門医を輩出し、全国の各地域の在宅医療の核となる若い人材を育成している。	●					医師	
	「在宅医療指導医研修」	在宅医療専門医に対して指導医研修を開催し、指導医としてプログラム運営にかかわる仕組みを構築している。	●					医師	
	生涯教育、学会	生涯教育プログラム、学術集会(大会)、地域フォーラムなどの学術活動を運営している。	●	●				在宅医療関係者	
日本在宅医療学会	地域緩和ケア普及のための取組	地域のプライマリケア現場での緩和ケア教育(プライマリ緩和ケア)のための研修プログラムおよびテキストの作成 抗がん剤治療の中止および差し控えに関する基準の作成 在宅医の視点での基準の作成	●				●	医師 在宅医療関係者	
	ICTを利用した在宅医療システム構築	ICTによる多職種間の情報共有 医師、歯科医師、看護師、薬剤師等の医療スタッフとケアマネージャー、介護スタッフ、介護者が在宅患者・利用者の健康管理・疾病管理について情報共有するシステムを構築して運用している。クラウド型SNSタイプのシステムがすでに幾つか開発されているが、将来はPHRとしてのデータ管理とインターフェイスアプリケーションが分離された地域包括ケア情報ネットワークへと発展させる。					●	在宅医療関係者	

団体	題目	内容	方法					対象	共催
			研修 講演	学会	調査 研究	普及 啓発	その他		
日本小児 科学会	小児在宅医療実技講習会マニュアルの作成						●	医師 看護師	
	小児在宅医療実技講習会の開催 (年1回)		●					医師 看護師	
	重症心身障害児(者)・在宅医療委員会報告	重症心身障害児(者)あるいは医療的ケアが必要な患者の在宅療養移行過程における親の付き添いと専門職のかかわりに関する調査 日児誌121巻7号pp1294-pp1302			●			医師 看護師	日本小児医療保健協議会【重症心身障害児(者)・在宅医療委員会報告】
	アンケート調査	各地における小児在宅医療実技講習会実施状況についてのアンケート調査 日児誌121巻9号pp1614-1622			●			医師	
	日本小児科学会小児医療委員会短期入所レスパイト小委員会全国実態調査	重症心身障害児(者)入所施設・国立病院機構における短期入所の全国実態調査 日児誌121巻 第4号 pp739-744			●			医師	
日本在宅 栄養管理 学会	介護予防事業における医療との連携を含めた包括的な栄養改善アプローチに関する	栄養手帳を用いて多職種連携を行い、その効果について検討を行った。			●			栄養士 介護支援専門員 かかりつけ医 家族等	
	在宅療養患者の栄養状態改善方法に関する調査研究事業	ケーススタディを実施し、質の高い在宅療養生活を維持できる栄養改善の介入方法について模索・提言を行った。			●			栄養士	
	管理栄養士による在宅高齢者の栄養管理のあり方に関する調査研究事業	栄養ケア・ステーション、病院、診療所、介護老人保健施設の管理栄養士が地域連携を強化し、居宅療養管理指導でのサービス方法の確立の必要について検討を行った。管理栄養士による居宅療養管理指導実施の実情と、管理栄養士による在宅高齢者への栄養管理の有効性について検討した。また、在宅高齢者の摂食状況・栄養状態把握方法と栄養食事指導方法と地域連携方法の提案についてガイドラインを作成した。			●			栄養士	(公社)日本栄養士会
日本在宅 ケアア ライア ンス	全体会議の開催	在宅医療推進に関わる課題の抽出や解決への提言等を協議。	●			●	●	在宅医療関連職種	
	作業部会の組織	学術、政策提言、啓発等を旨とする3つの作業部会(研究班)を構成した			●	●	●	在宅医療関連職種	
	「在宅医療関連講師人材養成事業」	平成26年度及び27年度に、日本医師会館において、日本医師会の共催で実施。アライアンス加盟団体たら多職種の協力を得て実施した。	●				●	医師	日本医師会
	調査・研究Ⅰ	災害時における在宅医療の支援の実態の研究調査を目的に、熊本地震災害現場に赴き、現地の行政を交えて会議を開催するなどして課題を整理した			●			在宅医療関連職種	
	調査・研究Ⅱ	医師・歯科医師・薬剤師に対して、在宅医療に関する調査・研究の協力機関の調査			●			在宅医療関連職種	
	冊子の編纂	基礎自治体職員を対象に、地域包括ケアシステム構築の一助となるよう、在宅医療の解説書				●		在宅医療関連職種	

団体	題目	内容	方法					対象	共催
			研修 講演	学会	調査 研究	普及 啓発	その他		
国立長寿 医療研究 センター	在宅医療に関する研究	高齢者在宅医療に関する多職種協働の阻害要因を克服する教育システムの構築に関する研究			●			在宅医療関係者	
	在宅医療に係る人材育成	病院スタッフが在宅医療現場を学ぶ研修会等の実施(病院・在宅医療連携研修会、臨床研修医のための在宅医療研修、地域包括ケアシステム構築に向けた研修、全国在宅医療・介護連携研修フォーラムなど)	●					医師 在宅医療関係者	
		高齢者医療・在宅医療総合看護研修の実施(講座名:「高齢者の在宅医療」「高齢者のEOLケア」「認知症高齢者の看護」など)	●					看護師	
		認知症サポート医養成研修、認知症初期集中支援チーム員研修の実施	●					医師、在宅医療関係者	
		研修カリキュラム、テキスト又は研修会動画のホームページでの公表	●					在宅医療関係者	
在宅医療に関する普及啓発	在宅医療推進フォーラムの開催				●		在宅医療関係者	公益財団法人 在宅医療 助成勇美記 念財団 日本在宅ケア アライアンス 他多数	
国立成育 医療研究 センター	世田谷小児在宅勉強会	在宅医との具体的な在宅患者に関しての定型的な勉強会、小児在宅医療を進めるための環境整備に関する情報交換会の定期的な開催	●			●	●	医師、在宅医療関係者	
	小児在宅技術講習会	近隣の病院医師、開業医、在宅医を対象とした技術講習会の定期的な開催	●			●		医師、在宅医療関係者	
	成育在宅医療懇話会、小児在宅医療勉強会(院内向け)	近隣および病院内の多職種間連携を目的とした懇話会の定期的な開催	●			●	●	医師、在宅医療関係者	
	成育、心身障害児総合センター合同講習会	病院、開業医、重心施設など病院の枠を越えた小児在宅医療に関わる実践的な知識を流布するための講習会の開催	●			●		医師、在宅医療関係者	東京都医師会 東京小児 科医会日本 小児科学会 東京都他